

自己点検・自己評価項目

学校法人 教文学園 広島アカデミー

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育理念・目的等 評価

- | | | | |
|---|-----|----------------------|---|
| 1 | 1-1 | 理念・目的・育成人材像は定められているか | 5 |
| 2 | 1-2 | 学校の特色は何か | 5 |
| 3 | 1-3 | 学校の将来構想を抱いているか | 5 |
| 4 | 1-4 | 理念に基づく教育が行われているか | 5 |

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

本校の教育理念は、日本語学習意欲旺盛な学生に対して、日本での大学等へ進学するための準備として効率的で高度な日本語教育を行い、日本と各国との友好を深める橋渡しとなる国際性豊かな人材の育成を目的としている。この目的の遂行のため、クラス形式の対面授業+長年の経験に基づいた効果的な教育方法により、各学生の習熟度に応じた効率的で高いレベルの学習効果を目指し、各学生の個性を重視し、それぞれの目的達成のために必要な教材を使用しての授業を行っている。

2. 学校運営 評価

- | | | | |
|----|-----|---|---|
| 5 | 2-1 | 運営方針は定められているか | 5 |
| 6 | 2-2 | 事業計画は定められているか | 5 |
| 7 | 2-3 | 運営組織や意思決定機能は確立され、効果的なものになっているか | 5 |
| 8 | 2-4 | 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか | 5 |
| 9 | 2-5 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 5 |
| 10 | 2-6 | 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか | 5 |
| 11 | 2-7 | 危機管理体制は整備されているか | 5 |
| 12 | 2-8 | 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか | 5 |

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

運営方針や事業計画は理事会において決定され、教職員にも示されている。理事長が統括し、副校長が現場の教職員を統率し、日々起こる諸問題の対応や連絡事項は定期的なミーティングを通して知らせ、教職員で共有している。人事給与制度については年に一回の人事考課を基に、昇給昇格等を決定し、仕事に対するモチベーションの維持、意欲向上に努めている。学生、職員の安全確保を目的とした施設、設備の整備をしている。

3. 教職員 評価

- | | | | |
|----|-----|----------------------------|---|
| 13 | 3-1 | 教育理念・目的が教職員間で共有されているか | 5 |
| 14 | 3-2 | 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか | 5 |
| 15 | 3-3 | 教職員評価を行っているか | 5 |

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

本校の教育理念や目的は、新学期前の全体ミーティングにおいて、理事長、副校長よりすべての教職員に訓示され共有できている。学校外の研修の受講や校内での勉強会等において教育の質の向上に努めている。教職員評価においては理事長との面談、自己評価や業務実績、能力、熱意等について評価をする。

4. 教育活動 評価

- | | | | |
|----|-----|-------------------------------------|---|
| 16 | 4-1 | カリキュラムは体系的に編成されているか | 5 |
| 17 | 4-2 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 5 |
| 18 | 4-3 | 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか | 5 |
| 19 | 4-4 | 成績評価は適切に行われているか | 5 |
| 20 | 4-5 | 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか | 5 |

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

本校のクラスは学習到達レベルで分けられている。クラスは複数名の教師で担当し、クラス内での注意点や問題点など引き継ぎを密に行い、クラス全員が理解できるように配慮している。授業見学を行い改善点、見習うべき点をミーティングにて意見交換し、指導力向上に努めている。成績評価は、7段階評価により詳細に行われている。授業態度、課題の提出、定期テストの結果を基に算出している。各種日本語試験の認定率向上のための対策も行っている。

5. 学生支援 評価

- | | | | |
|----|-----|--|---|
| 21 | 5-1 | 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 5 |
| 22 | 5-2 | 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 5 |
| 23 | 5-3 | 学生の心身の健康管理・自己・ケガのサポートを担う体制があり、有効に機能しているか | 5 |
| 24 | 5-4 | 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか | 5 |
| 25 | 5-5 | 保護者と適切に連携しているか | 5 |
| 26 | 5-6 | 卒業生への支援体制はあるか | 4 |

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

進学については、進路指導担当の教師と個別面談を行い、出願時の書類の作成、面接練習、小論文対策等の指導を行っている。学生のサポートに関しては24時間体制で学校と連絡が取れる環境にしている。学生寮は生活設備等すべて完備しており、学校から自転車で10分程度の場所に数棟完備しており、自転車の無料貸し出しも行っているため、入国してすぐの学生も安心して生活できている。保護者との連携もすぐに行えるように体制を整えている。卒業後の学生へのサポートも継続して行っており、相談に訪れた学生への対応も在校生と変わらず行っている。

6. 在籍管理と生活指導 評価

| | | | |
|----|-----|-----------------------------|---|
| 27 | 6-1 | 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか | 5 |
| 28 | 6-2 | 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか | 5 |
| 29 | 6-3 | 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか | 5 |
| 30 | 6-4 | 常に最新の学生情報を把握しているか | 5 |

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

入学時のオリエンテーションにおいて、日本での生活ルールや学校のルール、交通ルールを警察等公的官庁に協力してもらいながら、各国の通訳をつけて指導している。在校中も長期休暇の前には各クラスで指導を行い、ルールの遵守を徹底している。学生のアルバイト先も含め常に新しい学生情報を把握するよう心掛けている。

7. 学生の募集と受け入れ 評価

| | | | |
|----|-----|-----------------------------|---|
| 31 | 7-1 | 学生の受け入れ方針は定められているか | 5 |
| 32 | 7-2 | 学生募集活動は、適正に行われているか | 5 |
| 33 | 7-3 | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 5 |
| 34 | 7-4 | 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか | 5 |
| 35 | 7-5 | 適正な定員設定及び在籍者数になっているか | 5 |

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

日本語の勉強意欲が高く、明確な目標を持つ学生を国籍関係なく受け入れをしている。学生選考は現地に赴き、学力テストと面接を行う。現地面接が難しい場合はSKYPEにより面接を行っている。教職員が一丸となりサポートできる定員人数設定、在籍者数となっている。

8. 財務 評価

- | | | | |
|----|-----|--------------------------|---|
| 36 | 8-1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 5 |
| 37 | 8-2 | 予算・収支計画は有効且つ妥当なものとなっているか | 5 |
| 38 | 8-3 | 財務について会計監査が適正に行われているか | 5 |
| 39 | 8-4 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 5 |

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

現在安定的な財務基盤を実現しており、中長期的に学校の財務基盤は安定している。毎年3月の理事会、評議員会で予算案（収支計画）は承認し決定している。決算については監事による会計監査を受け、理事会、評議員会で承認されている。

9. 法令などの遵守 評価

- | | | | |
|----|-----|----------------------------|---|
| 40 | 9-1 | 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 5 |
| 41 | 9-2 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 5 |
| 42 | 9-3 | 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか | 5 |
| 43 | 9-4 | 自己点検・自己評価を公開しているか | 4 |
| 44 | 9-5 | 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか | 5 |

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

本校は法令や基準等を満たしており、法務省から適正校としての認定を受けている。個人情報に関しては個人情報保護規程を整備し、管理体制を徹底している。現在まで個人情報漏洩等は起こっていない。自己点検・自己評価も行い、公開している。関係省庁への定期報告も遅延なく実施している。

10. 社会貢献 評価

- | | | | |
|----|------|----------------------------|---|
| 45 | 10-1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか | 4 |
| 46 | 10-2 | 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 5 |

〈現状・具体的な取り組み/課題〉

地域において外国人が増えており、市からの通訳、翻訳等の依頼に協力している。市の催事のボランティアには参加するように勧め、教職員と一緒に参加している。日本人との交流、外国人への理解に向け、今後も活動を続けていきたい。

〈総括〉

2010年に広島アカデミーを設立し、当初は少人数からのスタートであったが、地道に学生募集活動を行い、学校運営を成り立たせてきた。2014年に学校法人を設立し、授業内容の質の向上、学生の生活のサポートの充実化への取り組みに力を入れた結果、現地での学校の評判も良く、年々入学希望者が増えてきている。学生が増えたからと言って、学習内容の質は変わらず、より良い内容の授業を行えるよう、教師間で切磋琢磨している。生活指導にも力を入れ、『日本へ来てよかった』『この学校を選んで良かった』と思ってもらえるような学校づくりを目指し、学生が目標達成できるようサポートを続けていく。

責任者

学校法人 教文学園 広島アカデミー

理事長 兼田 悦子

実施期間 2020年4月